

見守り活動の課題について(案)

1 発見機能

- ・「見守りが必要な人」を、誰が、どのようにして発見するのか
(誰が→近隣住民 or 地域包括支援センター等の公的な見守りネットワーク、
どのようにして→郵便物が溜まっている、挙動不審、異臭、等)
- ・誰が「見守りが必要な人」の生活状態を判断するのか
- ・立入り・通報の判断基準
- ・見守りのレベルについて
(重度：立入りによる安否確認、中度：常時の見守り+医療・介護等必要な
サービスの提供、軽度：地域での見守り、等、見守りの基準はあるか)

2 見守りのサポーター

- ・見守りのネットワークが効果的に機能するには、地域包括支援センター等の
専門機関による見守り活動だけでは不十分であり、見守りのサポーター
(協力員、地域住民による見守りネットワーク)の存在が不可欠
- ・どのようにして、サポーターを確保するか

3 個人情報の壁

- ・行政からの個人情報の提供について
- ・ライフライン事業者からの個人情報の提供について
- ・見守りの担い手間での個人情報の共有について

4 その他